

9 管理運営目標 (基本協定より 抜粋)	(1) 流域下水道の単位水量当たりの維持管理経費の削減 平成16年度比8%減 (平成22年度における数値) (湖南中部8%減、湖西8%減、東北部増減0%、高島37%減) (2) 公園の有料施設利用者の増 平成16年度比18%増 (矢橋帰帆島公園 18%増、苗鹿公園 3%増)
----------------------------	---

(2) 指定管理と管理委託の比較

	平成18年度 指定管理者 (財)滋賀県下水道公社	平成17年度以前 管理受託者 (財)滋賀県下水道公社
指定管理料 (委託料)	総額 (5年間) 38,718,200千円 平成18年度 6,327,268千円	平成15年度 6,334,794千円 平成16年度 6,512,193千円 平成17年度 6,914,076千円
利用人数	平成18年度 計 165,860人 矢橋帰帆島公園 159,623人 苗鹿公園 6,237人	平成15年度 106,072人 平成16年度 109,791人 平成17年度 128,810人
利用料金収入	平成18年度 計 41,121千円 矢橋帰帆島公園 40,069千円 苗鹿公園 1,052千円	平成15年度 30,754千円 平成16年度 31,469千円 平成17年度 36,126千円

(3) 利用者サービス向上のための取り組み

- ・アンケートによる利用者の意見や声を公園運営へ反映した。
- ・有料施設の土・日・祝日の申込み・承認ができるようにした。
- ・一部有料施設の休園期間中の開場により開催日数を拡大した。
- ・ホームページにより公園施設の案内や公園イベントの紹介を行った。

(4) 管理経費節減のための取り組み

- ・施設の効率的運転による処理経費の縮減に努めた。
- ・人員の削減による組織体制の効率化を図ることにより、人件費の抑制に努めた。

(5) その他の個別意見等

- ・将来に下水道処理施設として整備する予定地を、今後も当面公園施設として利用する場合は、スペースの有効活用について検討が望まれる。
- ・下水道施設はストックマネジメントによる計画的な修繕および更新が望まれる。
- ・下水道施設は全国的に直営としている都道府県が多い中、こういった施設の管理方法が最適であるのか検討が望まれる。

5 滋賀県立水環境科学館

(1) 指定管理の概要

1 施設所管部課	琵琶湖環境部下水道課
2 施設の名称	滋賀県立水環境科学館
3 施設の所在地	草津市矢橋町字帰帆2108
4 指定管理者	大津市春日町3番14号 アクア エコ リサーチ アソシエーション 代表者 日本メンテナンスエンジニアリング株式会社 (構成: 日本メンテナンスエンジニアリング(株)、特定非営利活動法人びわこ水ネット、(株)日水コン)
5 指定の日	平成18年1月5日
6 指定の期間	平成18年4月1日から平成21年3月31日まで(3年間)
7 選定方法	公募(6者)
8 設置目的等 (設置および管理に関する条例より抜粋)	下水道の普及を図り、あわせて県民がよりよい水環境の創造について考え、学習し、水とふれあい、交流するための施設として、滋賀県立水環境科学館を草津市矢橋町に設置する。
9 管理運営目標 (基本協定より抜粋)	(1) 施設の効率的運営に関するもの 利用料金収入の確保(平成18年度 571千円、平成19年度 583千円、平成20年度 594千円) (2) 施設の有効活用に関するもの 入場者の確保(年間) 66,000人

(2) 指定管理と管理委託の比較

	平成18年度 指定管理者 アクア エコ リサーチ アソシエーション	平成17年度以前 管理受託者 (財)滋賀県下水道公社
指定管理料 (委託料)	総額(3年間) 234,754千円	平成15年度 86,141千円
	平成18年度 78,392千円	平成16年度 87,440千円 平成17年度 83,572千円
利用人数	平成18年度 76,007人	平成15年度 61,732人
		平成16年度 64,796人

		平成17年度	64,615人
利用料金収入	平成18年度	平成15年度	670千円
		平成16年度	555千円
		平成17年度	679千円
	800千円		

(3) 利用者サービス向上のための取り組み

- ・エコトークなど普及啓発を実施した。
- ・開館日数を増やした。(夏休み期間中の休館無しおよび年末年始の休館短縮)
- ・展望風呂の営業開始時刻を13時から11時に繰り上げた。
- ・館内ツアーを実施した。

(4) 管理経費節減のための取り組み

- ・館内温度管理目標を夏場28℃、冬場18℃とし空調機の省エネ運転に努めた。
- ・空調機に省エネベルトを取り付け、エネルギー効率を向上させる対策を実施した。
- ・照明については、器具内管球の間引き、好天時に間引き点灯、エレベータの不必要な使用の制限を実施した。
- ・軽微な修繕については、スタッフで実施した。

(5) その他の個別意見等

- ・アンケートの結果や来館者との対応を取りまとめたQ & Aの蓄積が必要。また、苦情等に対しては迅速で適切な対応が望まれる。
- ・指定管理者から指定管理期間の長期化が必要という意見がある。(3年から5年へ)
- ・下水道や水のことについて大人も子どもも楽しく学べる施設として、常に下水道施設等と連携をとり、下水道に関する各種情報を発信することが望まれる。

6 滋賀県立近江富士花緑公園

(1) 指定管理の概要

1 施設所管部課	琵琶湖環境部森林政策課
2 施設の名称	滋賀県立近江富士花緑公園
3 施設の所在地	野洲市三上519
4 指定管理者	彦根市大東町3番1号 近江鉄道ゆうグループ 代表者 近江鉄道株式会社 (構成：近江鉄道(株)、西武造園(株))
5 指定の日	平成18年1月5日

6 指定の期間	平成18年4月1日から平成21年3月31日まで(3年間)
7 選定方法	公募(3者)
8 設置目的等 (設置および管理に関する条例より抜粋)	県民に四季を通じて花と緑に親しむことのできる場および森林を利用した保健休養の場を提供することにより、県民の緑化意識を高めるとともに、豊かな心の醸成および健康の増進を図るため、滋賀県立近江富士花緑公園を野洲市に設置する。
9 管理運営目標 (基本協定より抜粋)	<p>ア 施設の効率的運営に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入(年間) (平成19年度目標 995万円、平成20年度目標 1,000万円) <p>イ 施設の有効活用に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場者数(年間) (平成19年度目標 31万人、平成20年度目標 32万人) ・ふるさと館和室稼働率 (平成19年度目標 22%、平成20年度目標 25%) <p>ウ 施設の活動状況等に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林文化体験教室参加者数(年間) (平成19年度目標 3,500人、平成20年度目標 4,000人)

(2) 指定管理と管理委託の比較

	平成18年度 指定管理者 近江鉄道ゆうグループ	平成17年度以前 管理受託者 (財)びわ湖造林公社
指定管理料 (委託料)	総額(3年間) 219,000千円 平成18年度 74,000千円	平成15年度 90,082千円 平成16年度 89,937千円 平成17年度 82,661千円
利用人数	平成18年度 312,189人	平成15年度 302,222人 平成16年度 298,391人 平成17年度 266,261人
利用料金収入	平成18年度 9,222千円	平成15年度 9,311千円 平成16年度 8,670千円 平成17年度 8,294千円

(3) 利用者サービス向上のための取り組み

- ・平日の施設利用料金の割引制度を実施した。
- ・ウッドイールーム閉館日の土曜日にも開館した。
- ・チェックイン時以外の手荷物の預かりを実施した。
- ・リアルタイムな公園情報を掲載したホームページの開設と運用を行った。